

2018 (平成30) 年度 学科開講科目

●必修科目 ○選択科目 (数字は単位数)

経済学の基礎

経済学の基礎 I・II・III・IV 経済・金融の仕組みと景気動向、市場の動きを鳥瞰する 2222

景気が悪いと企業は生産を縮小し、雇用機会は減少します。人々の所得も減り、商品はさらに売れなくなります。景気はどのように回復するのか。経済活動の全体を鳥瞰するマクロ経済学、個々の経済活動を検討するミクロ経済学を学びます。1年次前期は国内経済の基本的な仕組みと働き、政府が行う経済政策について解説します。後期は前期のマクロ経済学の続きで、金融の仕組

みと働きを扱います。2年次前期は消費者と企業の動きを見ながらミクロ経済学の考え方を学び、後期では市場がうまく働かない場合と、市場そのものが形成されていない場合の政府の役割を学習します。最後に総所得の増大と、所得格差を小さくすることの両立の難しさを理解します。

経済と生活

日本の経済 日本経済が直面する課題を理解して考える ②

日本経済が直面している課題を認識し、課題の解決に向けてどのような取り組みが行われてきたかを理解します。そのうえで今後どのような取り組み(経済政策など)が行われるべきかについて、アベノミクスを中心に一緒に考えます。日本の経済について歴史、理論、制度の3つの柱を中心に学びます。

北海道の経済 北海道経済の背景を知り、今後を展望する ②

北海道の経済について、歴史、理論、制度の3つの柱を中心に学びます。北海道経済が抱えている課題を認識し、行われてきた取り組みや背景を知るとともに、今後の北海道経済のあるべき姿を検討し、課題解決に向けて何をすべきかを論理的に考える力を身につけていきます。

消費と経済 日本に注目し消費と経済発展との関連を解説 ②

民間最終消費支出(いわゆる消費)は、国民総支出の最大費目かつ最も安定した存在です。本講義では、消費の構造を歴史と理論の側面から理解し、個々の消費者レベルの意識の変化を学びながら、未来の消費の方向性を考察します。

税金と経済 身近な事例から現代における税金の意義を考察 ②

現代人の生活に欠かせない税金。税金とは、納めるのか、支払うのか、とられるのか?近所の橋や病院に税金が使われるのはなぜか?こうした身近な事例から税金と経済について考察します。日本の福祉国家財政の特徴と全体像を理解して、自分の意見を述べられるようになることを目指します。

労働と経済 労働環境の変化を知り、働き方を考える ②

少子化・高齢化という社会構造の変化と強まる国際競争のなかで、企業は人の雇い方・働かせ方を変えてきました。女性の活躍に期待が高まる一方で、雇用の非正規化が進んでいます。近年の労働環境の変化を理解し、働くうえで必要な就業に関する知識を習得し、自分自身の働き方を考えます。

福祉と経済 出産後の女性が働ける社会を考察 ②

失業、妊娠や出産、高齢などの理由で働けなくなる時期があります。資本主義社会では、働いて賃金を得て生計を立てることが一般的ですが、働けなくなった時に社会全体がどのように支え合うのか、女性が働き続ける時に必要な社会保障システムを考察します。

環境と経済 環境問題について解決の糸口を探る ②

現代を生きる私たちの生活に深く関わっている環境問題。社会・経済のなかで環境問題がなぜ発生するのかを理解し、さらにその解決に向けてどんな政策が取られているのかについて解説します。また企業活動や市民生活と環境問題の関わりに触れ、多面的な思考を養います。

金融と国際経済

金融と経済 金融とは何か?その背景と課題を知る ②

金融は私たちの生活を豊かにする、目に見えない発明品です。これまで長い時間をかけて改良を重ねられてきましたが、さらなる改良が望まれる段階にあります。金融の何がすごいのか、どの部分を改良してきて、さらにどの部分を改良する必要があるのか、標準的なミクロ経済学を用いて検討します。

銀行と金融 銀行や金融システムの基本知識を学ぶ ②

銀行は、預金、貸出、為替といった旧来の役割のほか、規制緩和やニーズの変化などを背景に、業務の領域を広げて多様化してきました。また、経営統合などを通じ、銀行経営も大きく変化しています。本講義では、銀行の役割や機能を具体例より学んでいきます。

証券と金融 ゲームで株式投資を学ぶ ②

証券取引は、金融経済の血液として、企業・家計でも国家財政においても非常に重要な役割を果たしています。個人資産など日常との関わりも強まっています。証券の基礎、仕組みなどを学びながら、模擬実習「株式学習ゲーム」を通じて、株式相場と社会・経済の動きとの関連性などを学習します。

保険と金融 多様な保険について仕組みと役割を知る ②

災害、事故、病気など、企業活動や個人生活につきまとう様々なリスクの備えとして「保険」の仕組みができ、社会経済の変化に応じて発展してきました。また、保険は金融市場とも深く結びついています。生命保険、損害保険、社会保険など多様な保険の知識と、金融市場との関わりを学びます。

国際経済 貿易を行う理由から影響、問題について検討 ②

貿易によって誰が利益を得るのか、ミクロ経済学の考え方をを用いた理解は、グローバル経済の問題点を考えるうえで必要不可欠です。貿易により、「社会全体で得をするが、個人々人では得をする人と損をする人がいる」という問題について考察していきます。

国際経済事情 国際的な経済問題を政治的側面からも解説 ②

サブプライム危機、リーマンショック、ヨーロッパ債務危機など、最近起きた大きな経済問題を取り上げ、経済的な側面だけでなく政治的な側面も合わせて解説します。私たちの生活と密接に関わる原油やレアメタルなどの資源問題にも触れ、国際経済事情に関する基本的な知識を身につけます。

国際金融 制度・歴史・理論の三面から多角的に理解 ②

グローバル化によって世界各地と重層的に結びつく地域経済。そのなかで活躍するビジネスパーソンの基礎的素養として、国際金融に関する基本的な知識を身につけます。国際金融が私たちの生活にどのような影響をもたらすか、どのような対処法があるかを考察できるレベル到達を目指します。

経営と情報

企業と経営 生活と密接な企業の社会的役割と運営の仕組み ②

私たちは生活に必要な財・サービスを企業から購入し、そのために必要なお金を企業で働き得ています。企業の社会的役割と運営の仕組みについて身近な企業の事例を取り上げながら解説し、企業形態の種類や特徴、また経営者の役割、経営戦略の基本について理解を深めていきます。

簿記 I・II 簿記の基本から学び3級取得を目指す ②②

企業経営を行う際に使われる複式簿記の基本を学ぶ、初心者向けの簿記入門講座です。簿記 I では商業簿記の基本を理解し、簿記 I 修了者を対象とした簿記 II では、決算での手続きを中心に進め、株式会社を前提とした会計処理についても学習します。

企業と会計 簿記の知識を基礎に「財務分析」を学ぶ ②

複式簿記の知識をもとに、企業の財政状態、経営成績、キャッシュ・フローを読み取り、財務諸表を分析する手法について学びます。テキストを読みながら、実際の企業の財務諸表を題材として分析を行います。

企業と市場 具体的事例によりマーケティングを理解する ②

企業が消費者に商品を購入してもらい経営を存続するためには、消費者が欲しがらる商品を生産し、送り届ける活動が必要となります。これが企業の中核的な活動と位置づけられるマーケティングです。具体的な事例に触れながらマーケティングの仕組み、コンセプト、主要手段などを学びます。

企業と法律 法治国家における商法や会社法を把握 ②

自由経済社会において、人は利益を求める営利活動を行いますが、自由な営利活動といえども法治国家では法に適合していなければなりません。企業法である商法・会社法について学び、企業の主体となる商人や会社の概念と種類、株式会社の設立や株式などについて理解を深めます。

コンピュータ実習 III・IV 高度な活用方法の習得と技能向上を目指す ①①

実習 III では、パソコンを用いた財務会計、パソコンの基本操作・知識を体系的に学びます。実習 IV は1年次のコンピュータ実習 I・II を履修または、中級レベルの技術を習得していることを前提に、より高度な活用方法の習得と技能の向上を目指し、ワープロ検定1級以上合格を最低目標に取り組みます。

研究科目

専門ゼミナール ②

卒業研究 ①